

つるせ西だより



世界のお正月

第149号(1・2月合併号)2020. 1. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景

19



たこ たこ あがれ... 天まであがれ

明けましておめでと〜うございます。

たこは空高く揚がるので、縁起がいいということでしょうか。たこ揚げは、お正月の子どもの遊びでした。

竹ひごを組み、障子紙を貼って絵を描き、新聞紙で長い尾をつけた自分のたこを揚げて遊んだことを思い出します。

富士見市には、今も、古くから伝わる扇だこが残っています。ただ一人、その制作技術を受け継いでいるのが上沢にお住まいの曽根力雄さん。初代大曾根龍蔵さんが、幕末から明治にかけて、群馬地方から盃型のたこを買ってきて、今の形にしたのだとか。力雄さんは親せきで、4代目になります。

末広りの形に、勇壮な武者絵が描かれます。今後とも、扇だこ保存会を中心に技術の継承と普及がされていくことを願います。皆様にとって良い年でありますよう心よりお祈りいたします。

(文・西角編集委員/撮影・伊藤真弓さん)

まちの話題

西交流センターで活動している、陶芸の「無の会」が、キラリ☆ふじみにて恒例の陶芸展を開きました。

今回は45周年を記念、記念行事として盛大に行われ、「花の器と食器」をテーマに、会員の皆様の力作ぞろいの作品と、共同制作の富士山が展示され、来場の方の目を楽しませていました。即売会が開かれており、大変賑わいでした。売上金の一部が社会福祉協議会に寄付

「無の会陶芸展」開催される

をされ、富士見市民が暮らしやすい街になるために役立っているとの事でした。先着150人の方に小作品の記念品が贈られました。



まちかどウォッチング

(鶴瀬西)

散歩の途中で珍しい盆栽を見つけました。盆栽の町などで見るものとはひとあじ違う作品で、幾何学模様と言っていいような面白いもので、作者にお会いしたく訪問してしまいました。その作品群は道路沿いの軒下に17、18本無造作に置かれています。それと同じような作品が数年前そっくり盗難にあり、どうも外国にいつってしまったのではと聞いていましたが、この形まで仕上げるのには30年以上と大きなものを指差し、小さいものでも3年はかかりますと...

素材は、ゴールドクレスト(ヒ



ノキの一種)制作方法はハサミ一丁で針金など一切使いません。ハサミの使い方独特のワザがあるようで、この作品は大変な汗の結晶と思えました。とにかく楽しんでおやりのようでした。これが宣伝になってまた盗難事件にあつてはと気がなります。場所は内緒にしておきます。(萩原)